25journal
society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU　okamura.nobuyoshi@gmail.com

# THE ROAD RACE TOKYO TAMAに伊強豪ら海外7チーム
# 7月13日　JR青梅駅前をゴールに開催

7月13日に開催される、JR青梅駅前をゴールに多摩地域を走り抜ける国際自転車ロードレース「THE ROAD RACE TOKYO TAMA（ザ・ロードレーストウキョウタマ）2025」の主な出場チームが5月30日に発表された。レースは、国際自転車競技連合（UCI）公認の国際自転車ロードレース（コンチネンタルサーキットクラス2）として行われる。

出場が決まったのは「ジロ・デ・イタリア」の出場実績を持つイタリアのソリューションテック・ヴィーニファンティーニなど海外7チーム、チームブリヂストンサイクリングなど国内9チーム。追加チームは随時公式ホームページで発表する。

レースを「より楽しむ」イベントも併せて発表された。前日イベントは7月12日8時～13時、三井アウトレットパーク多摩南大沢（八王子市）で開催。GRAND CYCLE TOKYOアンバサダーの稲村亜美さん、青山学院大学陸上競技部監督の原晋さんをゲストに迎え、出場チームのプレゼンテーション、エキシビション走行、トークセッションなどを行う。

当日イベントは7月13日9時～14時、jr青梅駅前のフィニッシュ会場周辺で開催する。前日に続き、稲村さん、GRAND CYCLE TOKYOアンバサダー武井壮さん、サイクリングアドバイザーの今中大介さんらをゲストに迎え、パブリックビューイングによるレースのライブ中継、トークショー、表彰式などを行う。

コースは、調布市の武蔵野の森公園前をスタートし、JR青梅駅前にゴールする133.8キロ。東京2020オリンピックコースを一部踏襲し、さらに多摩地域ならではのアップダウンと山あい地帯を含むハードなコースになる。

見どころはJR青梅駅前を通過後の1周約16キロの周回コース。多くの人に観戦してもらえるよう設定したもので、軍畑駅付近から成木方面に向かう平均勾配6%、約2キロの榎峠が「勝負所」になり、最高時速80キロ以上が予想されるダウンヒルも見逃せないという。黒沢から青梅市街地へ戻る青梅坂トンネルへの登りも、体力を削った選手たちには厳しいものになる。この周回コースを4周する。

女子のレースは同周回コースを2周する33・5キロで行う

ゴールの青梅駅付近。開発が進む地区に新たなスポーツイベントが来る

## 建国と憲法、それぞれの思い
### チマッティ神父と千葉卓三郎

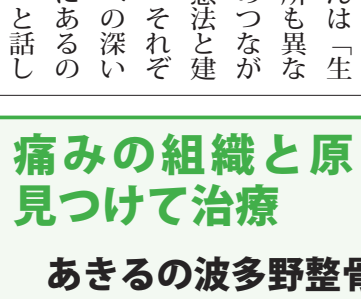
ピアノソナタ「国の肇（はじめ）を讃えて」の作曲者であるチマッティ神父と五日市憲法の起草者・千葉卓三郎。2人の共通性に光をあてた講演と演奏の集まりが5月11日、五日市交流センターまほろばホールで開かれた。

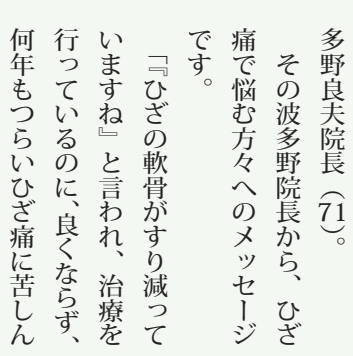
イタリア人のチマッティ神父は、1926（大正15）年サレジオ会の宣教師として門司港に上陸。その際「これから新しい考え、新しい志……。桜の花……、すばらしい自然の宝庫。喜びの涙が出る」との手紙を本国に送り、多くの日本人司祭や修道者を育てる。

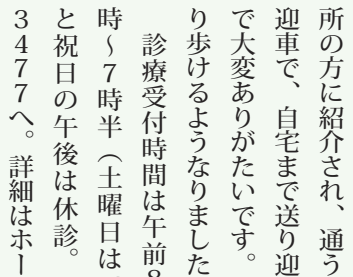
音楽家でもあり、900以上を作曲。戦前、戦後もキリスト教が外国の宗教として厳しく監視されるなか、たびたびコンサートを手がけ音楽を通して普及活動にいそしんだ。1940（昭和15）年に書かれた冒頭の曲は、神武天皇の国造りがテーマ。当時は内地だけでなく満州にも放送されたという。一方、日本人子弟の教育にも力を尽くし、サレジオ学院の礎を築く。

当日は「骨の髄まで日本人になった宣教師と五日市憲法の精神」と題し、ジャーナリストで千葉卓三郎に関する著作を持つ岡村繁雄さんとサレジオ会のガタエノ・コンプリ神父が基本的人権の宣揚を進めたそれぞれの人物像を語った。その後、約15分間におよぶピアノソナタを弾いたのは地元のピアニスト、しょうじみかさん。

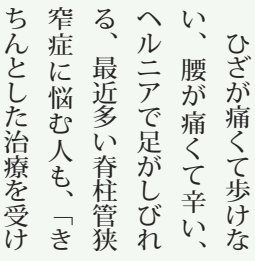
イベントを主催した日本いのちの文化協会の池田正昭さんは「生きた時代も場所も異なる2人。直接のつながりはないが、憲法と建国の理念には、それぞれが描く〝国への深い思い〟が底流にあるのかもしれない」と話していた。


G・コンプリ神父


岡村繁雄さん


しょうじみかさん


## 痛みの組織と原因を見つけて治療
### あきるの波多野整骨院



## ひざの痛みでお悩みの方へ

ひざが痛くて歩けない、腰が痛くて辛い、ヘルニアで足がしびれる、最近多い脊柱管狭窄症に悩む人も、「きちんとした治療を受ければ、本当に良くなる」。そう語るのはあきるの波多野整骨院（腰痛研究所併設）の波多野良夫院長（71）。

その波多野院長から、ひざ痛で悩む方々へのメッセージです。

「『ひざの軟骨がすり減っていますね』と言われ、治療を行っているのに、良くならず、何年もつらいひざ痛に苦しんでいる方が沢山います。画像に現れる骨や軟骨の異常と痛みが無関係であることはよくあることです。ひざ痛は〝どの組織が痛いのか〟、〝どの原因によって生じているのか〟によって、治し方はまったく違います。はじめから原因を明確にして、その原因に対応した治療やケア（運動療法）が行われていれば、痛みをスムーズに取り除けることが多いのです」。

あきる野市秋川の70代の女性M・Hさんは、「膝が悪く家の中をはって動いていました。どこに行っても良くならず、波多野先生を近所の方に紹介され、通うことにしました。送迎車で、自宅まで送り迎えをしてくださるので大変ありがたいです。ヒザは痛みがなくなり歩けるようになりました」とのこと。

診療受付時間は午前8時～正午、午後3時～7時半（土曜日は12時半まで）。日曜と祝日の午後は休診。☎042（550）3477へ。詳細はホームページで。

あきる野市秋川5-1-2　P4台